

設計が完成

向上を目指して



防災拠点としての機能が向上します

市役所本庁舎は、総合的な防災拠点の役割が求められることから、災害時も業務を継続できる機能が重要です。免震構造の採用や、執務室を無天井化することで防災拠点施設としての耐震安全性を確保します。

また、災害発生時に電気や上下水道などのインフラが途絶した場合、それらが復旧するまで庁舎機能を維持できるように、非常用発電装置や緊急排水槽・雨水貯留槽・雑用水槽を設置する計画としています。

手続きの利便性が向上します

1階の主玄関を入ったところは、一目で窓口全体を見渡すことができる開放的な空間となっており、目的の場所をすぐに見つけることができます。総合窓口を新たに設置することで、必要に応じた申請書類の受け渡しを1か所でできるようにします。

来庁者の多い福祉や税部門などの窓口は1階と2階に集約して配置します。証明書の発行など所要時間が短い窓口にはハイカウンターを設置し、対面してのやりとりや、車いす

利用者への対応が必要なところには、ローカウンターを設置する予定です。

プライバシーの配慮が必要な窓口には、間仕切りパネルや個別ブースも設置します。

〔新庁舎の断面構成〕



概算事業費と財源

新庁舎の整備に要する概算事業費は、右表のとおり約117.4億円を想定しています。

現在想定している新庁舎整備に係る事業費のうち、一部国からの補助金を見込んでいるほかは、市の一般財源により賄うこととなります。今後、各年度の財政状況を考慮して、30億円を目標に庁舎整備基金の積み立てを行い、自主財源を確保し、財政負担が偏らないように配慮します。

〔概算事業費〕

項目	概算金額
①新庁舎工事	約 91.1億円
②倉庫工事	約 1.7億円
③解体工事	約 4.3億円
④設計業務等	約 4.6億円
⑤用地取得費（非課税）	約 5.5億円
小計	約 107.2億円
消費税10%含む	約 117.4億円

この概算事業費は、基本設計時点での積算であり、上下水道局の庁舎整備費用や備品購入費用などは含まれておりません。

事業スケジュールを延期します

昨年発生した一連の台風及び大雨により、一部の避難所に雨漏り等の不具合が確認され、修繕の緊急性が高い避難所の修繕工事を優先して実施することとしました。また、避難所としての機能に不具合がある施設を引き続き確認することといたしました。これらの緊急対応を今後の予算に反映できるよう、市庁舎整備事業の令和2年度予算への計上は見送りました。

今後のスケジュールについては現時点では未定となっています。ただし、上下水道局庁舎については、耐震性が不足しており、暫定的な補強も実施していないことから、計画どおり整備を進めます。

基本設計書とパブリックコメントの結果は、市ホームページで見られます。基本設計書は、トップページから「市政情報」→「各課ご案内」→「総務部庁舎総合整備課」へ、パブリックコメントは、トップページの市民参加・会議の公開から「パブリックコメント」へ。法務課情報公開班、各支所でも閲覧できます。公民館・図書館は、新型コロナウイルスの影響で、臨時休業のため閲覧できません。問い合わせは、庁舎総合整備課☎(483)1151(代表)へ

ふらっと立ち寄れる

「公園のような庁舎」

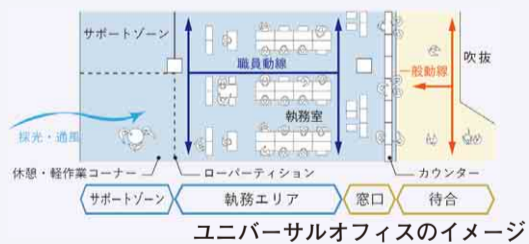
- ・「公園緑地都市・八千代らしさ」を感じるうるおいある環境づくり
- ・周辺環境、歴史や文化を踏まえた、市民に親しまれるデザイン



機能的でフレキシブルな

「ユニバーサルオフィス」

- ・将来の変化に対応できるフレキシブルな施設計画
- ・職員の執務環境の向上
- ・全ての利用者にやさしいユニバーサルデザインの導入



広告

広告